

2020年度
事業報告書
収支決算書

自 2020年 4月 1日

至 2021年 3月31日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2020年度事業報告書

I. 総括

2016年8月、日本財団 TOKYO 展 2020(任意団体)として設立した当団体は、2016年10月3日、一般財団法人に移行した。2017年4月、これまで以上に全ての人が共に生活できる社会の実現をより一層加速させるため、新たに舞台芸術公演の開催を事業内容に加えることにし、団体名称を「一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」に変更した。

設立から五年目にあたる2020年度は、以下の事業を実施した。

- (1) 企画展事業では、2020年7月～9月の2か月間、東京オリンピック、パラリンピックの開催時期にあわせ、船の科学館（東京・お台場）を会場に企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展（仮称）」の開催を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの世界的流行により、東京オリンピック、パラリンピックが2021年に延期になったことを受けて、本企画も開催時期を延期した上で、その内容についても見直すこととし、2020年4月以降、関係各所と協議を行った。
- (2) 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の事業内容を広く周知するため情報発信に努めた。
- (3) 公募事業では、2019年度に実施した「第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」作品募集において、受賞作家への授賞式及び入選作品の展覧会開催を予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。2020年度事業として「第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」を実施し、障害のある人にアート活動の機会を提供するとともに、広く社会に発信するために作品募集から展覧会の実施準備を行った。
- (4) 多様性をテーマにした舞台芸術のプログラムでは、2019年度に引き続き、日本財団との連携・共催のもと、「True Colors Festival 一超ダイバーシティ芸術祭」の取り組みを行った。当初計画していた演目は新型コロナウイルスの影響により中止したが、オンラインでのプログラムを再検討し、2020年度には計4本のオンラインイベントを実施した。

II. 実施事業の概要

A. 障害者等によるアート作品の展覧会の開催

a. 企画展「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 展（仮称）」

開催時期を延期し、事業内容を一から見直すことを受けて、2020年4月以降、日本財団及び関連会社と内容や方向性の策定にあたり協議を重ねてきた。障害者と芸術文化への認知拡大及び意識改革の推進を図ることを目的に、障害福祉やアートの分野に接点の少ない、一般の若年層を主なターゲットとし、新型コロナウイルスの影響を考慮した、非接触型のイベント形式を検討。オンライン上でのアプローチをベースとし、メディアやSNS等を有効的に活用することで、多くの人々が参加できる多面的な企画内容を協議した。しかし、2021年3月時点で事業内容や評価指標等の折り合いがつかないことから、企画展自体を白紙に戻すこととなった。

b. 企画展会場の管理及び復帰

2020年5月下旬、大成建設株式会社に発注した船の科学館（東京・お台場）の改修工事が終了した。同館を会場として使用するか否かを引き続き検討していることから、今後も会場の維持・管理を平行して行い、事業終了時には、平和島の美術品専用倉庫に保管している船の科学館の所有展示物等の現状復帰を行う。

B. 情報発信

ホームページや各種媒体を通じて、各種事業の情報発信に務めた。

a. Webメディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」

「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS」のメインサイトとして、取材・企画制作記事掲載を中心に、当団体実施イベントや情報を伝えるページを随時更新公開した。

今年度は取材記事34本を制作し、前年度制作分を合わせて38本を公開した。また関係イベントなどのニュース記事44本を作成・公開した。

本Webサイトへの年間総訪問者数は180,929人で、ページビュー数は217,308PVであった。

サイト内のプロジェクトページの各事業コンテンツを年毎に並び替え見やすくなるように整備し、当団体のヴィジュアルアーツとパフォーマンスアーツに関わる全ての事業を網羅して紹介できるようにした。

また、サイトのウェブアクセシビリティを定めた日本工業規格「JIS X 8341-3-2016」に準じたアクセシビリティ診断を行い、診断結果に基づいてデザイン・及びシステムの改善を施した。

b. ソーシャルメディアとの連携

Facebook、InstagramとWebメディア「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を連動させ、情報の拡散に努めた。2021年3月末時点で、Facebookの「いいね」が2,011件、フォロワー数2,454人、Instagramのフォロワー数も2,408人に達し、堅実に数を伸ばし

ている。また、2020年6月にWebメディア TODAYの記事更新を伝えるTwitterを開設した。

c. 「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」の発行

Webメディアで公開する記事を再構成し、「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」(タブロイド版、フリーペーパー)として、08号と09号を発行した。発行部数は08号16,500部、09号は15,000部で、文化施設、福祉施設、学校、書店、カフェ等で配架・配布した。全国での配架拠点、配架部数ともに増加しており、外部イベントでの配布希望の引き合いなどもあり、広く本事業の周知を感じられた。またGoogle Formを利用した申込システムをつくり、個人の購読希望者に対応している。

d. メールマガジンの配信

年間ほぼ月1回のペースで計10回、延べ23,606ユーザー宛てにメールマガジンを配信した。

C. 「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」の実施

a. 「第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」授賞式及び展覧会

2019年度に実施した作品募集において、受賞作家への授賞式及び入選作品の展覧会開催を予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(1) 授賞式の開催(中止)

開催日 2020年4月11日(土)

会場 Bunkamura Gallery

(2) 展覧会の開催(中止)

名称 第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展

主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団(横浜会場)

協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

Bunkamura(東京会場)

展覧会アートディレクター 中津川浩章(美術家/アートディレクター)

会場 <東京会場>

会期 2020年4月12日(日)~4月22日(水)

時間 10:00~19:30

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

<横浜会場>

会期 2020年4月25日(土)~5月1日(金)

時間 9:30~18:00 (26日(日)、29日(水)祝は17:00まで)

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

内 容 <東京会場>

- ・ 受賞作品 (11 点)、入賞作品 (57 点)、国外佳作作品 (4 点)、別枠作品 (11 点) の展示

- ・ 「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」の開催

日時 2020 年 4 月 19 日(日) A. 10:30~12:30 B. 15:00~17:00

2020 年 4 月 20 日(月) C. 13:00~15:00 D. 17:30~19:30

講師 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

定員 各回 7 名程度

参加無料 要申込 (申込多数の場合は抽選)

<横浜会場>

- ・ 受賞作品 (11 点)、入賞作品 (57 点) の展示

(3) その他 (制作完了)

- ・ 図録制作 (600 部)
- ・ 各種チラシ制作

b. 「第 3 回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

障害のある人にアート活動の機会を提供し、有能なアーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害のある方を対象にアート作品の公募、審査及び展覧会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため受賞作家への授賞式は中止した。

(1) アート作品の公募

募集期間 2020 年 6 月 15 日(月)~7 月 5 日(日)

募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。

応募点数 1 作者につき 3 点以内

出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。

素材やテーマは自由。

平面作品 縦 200 cm×横 120 cm以内

立体作品 高さ 200 cm×幅 150 cm×奥行 150 cm 重量 50 kg以内

(2) 公募作品の審査・選考

審査員

秋元雄史 東京藝術大学大学美術館館長・教授、練馬区立美術館館長

上田バロン FR/LAME MONGER 代表、イラストレーター

エドワード M. ゴメズ RAW VISION 主任編集者

藏座江美 一般社団法人ヒューマンライツふくおか 理事

中津川浩章 美術家、アートディレクター

永野一晃 写真家

望月虚舟 書家

審査方法

＜一次審査＞ 国外応募は7月中旬、国内応募は8月上旬に審査員による書類（写真）審査を実施。

＜二次審査＞ 審査員立会いのもと、一次審査通過作品の現物審査を実施。審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作併せて118作品を選出
二次審査（現物審査）実施日 2020年9月21日(月祝)

応募作品数 2,089作品（国内応募1,900作品、国外応募189作品）

(3) 授賞式及び展覧会の開催

2020年度（第3回）及び中止した2019年度（第2回）入選作品を展示した展覧会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた関連イベント開催は見送り、授賞式は中止した。

- ・ 授賞式（中止）

開催日 2021年4月3日(土)

会場 Bunkamura Gallery

- ・ 展覧会（開催）

名称 「第3回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」

主催 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

共催 社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団（横浜会場）

協力 国際障害者交流センター ビッグ・アイ

Bunkamura（東京会場）

展覧会アートディレクター 中津川浩章（美術家/アートディレクター）

会場 ＜東京会場＞

会期 2021年4月3日(土)～18日(日)

時間 10:00～19:00

会場 Bunkamura Gallery/Wall Gallery

＜横浜会場＞

会期 2020年4月21日(水)～26日(月)

時間 9:30～18:00 (25日(日)は17:00まで)

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

内容 ＜東京会場＞

- ・ 第3回及び第2回入選作品の中から154点の展示
受賞作品（第3回：13点、第2回：11点）
入賞作品（第3回：44点、第2回：57点）
国外佳作作品（第3回：8点、第2回：4点）
別枠作品（第3回：6点、第2回：11点）

＜横浜会場＞

- ・ 第3回入選作品の中から57点の展示
受賞作品（13点）
入賞作品（44点）

(4) その他（制作完了）

- ・ 収録制作（648部）
- ・ 各種チラシ制作

D. 多様性をテーマにした舞台芸術シリーズの開催

多様性をテーマにした舞台芸術に関連するオンラインでのプログラムを計4本実施した。日本財団との連携・共催のもと、「True Colors Festival ー超ダイバーシティ芸術祭ー」と銘打ち一連の取り組みを行った。

a. ミュージックビデオ「STAND BY ME」

公開日 2020年6月3日(木)（現在も配信中）

場所 オンラインで配信（True Colors Festival YouTube 公式チャンネルほか）

出演 ウィールスミス、サインマーク他 15か国・地域の障害のあるアーティストなど46名

視聴者数 Youtube：19万回、Tiktok：21万回、Facebook：44万回

合計 84万回

内 容

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東京都内で予定していたすべてのイベントを中止した後、オンラインでも多様性やインクルージョンのメッセージを発信することが重要と考え、オンラインで発表できるミュージックビデオの制作・発表を行った。コロナ禍においてこそ、障害者をはじめ様々な背景を持つ人が置き去りにならないよう、寄り添いあう世界を目指すステートメントとして「STAND BY ME」の楽曲をセレクトし、障害のあるミュージシャンやダンサーに参加いただいた。公開時には、オリジナル版のほか、音声ガイド（英語）版と手話が大きく見えるバージョンも制作し、いずれも多くの方にご覧いただけるきっかけとなった。

b. オンライン・トークイベント「THIS IS HIP-HOP!」

開催日 2020年9月26日(土)（現在はアーカイブ動画を配信中）

場所 オンライン

出演 ジョンジーD（英国）、アンバー・ギャロウェイ・ガレコ（米国）、ルカ・パトエリ（カナダ）、サイコジ（インドネシア）、ウィールスミス（シンガポール）、スパーシュ・シャー（米国）、TAMURA KING（日本）

当日視聴者数 470回

アーカイブ視聴者数 1,088回

内 容

6月に発表したミュージックビデオ「Stand By Me」で印象的だったラップパートやストリートダンスを披露した障害のあるアーティストのほか、ヒップホップの世界で活躍する国際的なアーティストらによるオンライン・トークイベント。異なる文化・社会的コンテキストに由来するアーティストたちが、どのようにヒップホップと向き合い独自のものにしてきたかを知ること、インクルーシブな社会の在り方のヒントを探ることができた。後半には各国のダンサー、ラッパーによる本イベントのために作られたオリジナル・ビデオ作品を上映。日英字幕、国際手話・日本手話を付与した形でのオンライン・イベントとなった。

c. True Colors Film Festival

開催日 2020年12月3日(木) ～ 12月31日(金)

場 所 オンライン

総視聴者数 4,929回

内 容

2020年12月3日(木)より、約1か月間のオンラインの映画祭「True Colors Film Festival (トゥルー・カラーズ・フィルム・フェスティバル)」を開催。テーマは「One World One Family (世界は一つの家族)」で、障害、女性のエンパワメント、アイデンティティ、貧困と逆境、人種差別など多様性とインクルージョンをテーマに扱った長編・短編作品を厳選し計28本を紹介した。

長編作品は12月12日(日)までシンガポールのオンライン映画配信プラットフォームより配信を行い、短編作品は12月31日(金)までフェスティバルの公式Vimeoチャンネルにて配信を行った。いずれも無料で貴重な映画が見られる機会、多くの方にご覧いただくことができた。また、初日は国際障害者デーに合わせて開催し、特別上映として脳性まひの主人公による日本映画「37セカンズ」の上映会と関連トークイベントを行った。

<関連イベント>

開催日 2020年12月3日(木)

場 所 オンライン

一部、メディア・関係者のみを招いた上映会、トークを都内のスペースFS 汐留で実施。

内 容 ①True Colors Film Festival オープニングトーク

②「37セカンズ」特別上映会

③「37セカンズ」監督・出演者によるトークイベント

当日視聴者数 121回

アーカイブ視聴者数 (トークパートのみ) 1,221回

d. True Colors FASHION～ドキュメンタリー映像「対話する衣服」

公開日 2021年3月5日(金) (現在も配信中)
場 所 オンライン (フェスティバル公式YouTube ほか)
出 演 ここのがっこうデザイナー、障害のあるモデル他
監 督 河合宏樹
視聴者数 3,800 回
内 容

日本で気鋭の若手ファッションデザイナーを世界に輩出し続ける私塾「ここのがっこう」のデザイナーと、障害者を含む6人の異なるモデルが互いに向き合い服を制作する様子を収めたドキュメンタリー映像を制作・発表した。監督に河合宏樹を迎え、コロナ禍における作品完成までの数か月、悪戦苦闘しながらも、それぞれの個性に向き合った姿を記録した。また、完成した6組の作品を紹介するクライマックスシーンでは、写真・構成を LILY SHU が、音楽を蓮沼執太が担当し、音声ガイドがないバージョンとあるバージョンを比較することで、インクルーシブなアプローチの表現を試みた。

e. その他

当初計画していた演目は中止となったが、オンラインで4つのプログラムを実施することができた。オンラインに移行したことで、海外からのフォロワーが増やすことができ、SNS などを通じて、海外に向けた英語による広報PR を強化した。

一方、障害のあるアーティスト育成に取り組むことを計画していたが、新型コロナウイルスの影響により、事業全体を見直すなかで、2020年度は十分な成果が得られないと判断し、次年度以降に持ち越すこととした。

III. 総務報告

1. 評議員・役員に関する事項

(1) 評議員

吉倉和宏 2020年7月27日再任 日本財団常務理事

菅井明則 2020年7月27日再任 笹川平和財団常務理事

中西由郎 2020年7月27日再任 元日本ゲートボール連合専務理事

(2) 理事

横尾紀彦(理事長) 2020年7月27日再任 につぼん文楽プロジェクト理事長

小澤 直 2020年7月27日再任 日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事

菅原悟志 2020年7月27日再任 ブルーシー・アンド・グリーンラド財団理事長

(3) 監事

山田恵一郎 2020年7月27日就任 笹川平和財団部長

以上 2021年3月31日現在

2. コロナ禍における事務局体制

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大と、東京都に緊急事態宣言が発出されたため、事務局職員の安全確保と事業実施が両立できるよう、在宅勤務を主とした勤務体制に変更した。在宅勤務期間中は、職員間の情報が減少することから、勤務日はオンラインによる「朝礼」を行い、情報交換と健康の確認を実施した。

また、職員の出張やイベントの実施、障害者施設を訪問する際には、その都度 PCR 検査を受けさせ感染対策を徹底した。

3. サテライト事務所の閉鎖

True Colors Festival の運営に際し、2019年6月1日より株式会社ロフトワークより借りていたサテライト事務所（東京都渋谷区道玄坂1-22-7）は、同事業内容の変更に伴い、賃貸借契約を解約し、2020年4月24日に退去・閉鎖した。

4. 職員について

2020年4月、これまで雇用している職員9名と契約の更新を行い、同様に人材派遣会社との間でも契約を更新し派遣社員1名を受け入れ、事業展開に必要な人員を確保した。

2020年度決算報告書

2021年3月期決算の前提条件

2020年4月～2021年3月

■事業費・管理費組替計算根拠（明細別紙）

・事業費の比率	95.5%
・管理費の比率	4.5%

■正味財産増減計算書内訳表

・受取助成金の配分		
事業費（事業会計）	97.5%
管理費（法人会計）	2.5%

以上

貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	681,671	661,350	20,321
普通預金(三菱-虎ノ門)	1,212,426	1,212,426	0
普通預金(三菱-本店)	1,165,872,328	768,339,119	397,533,209
普通預金(みずほ-神田)	375,952,618	240,956,576	134,996,042
普通預金(郵貯-神田錦町)	67	41	26
普通預金(住友-神田)	1,616,333	1,587,782	28,551
普通預金(楽天-第二営業)	3,212,697		3,212,697
未収金	0	1,792,060	-1,792,060
仮払金	0	0	0
預け金	41,646	37,759	3,887
前払費用	1,303,918	1,232,965	70,953
立替金	120	0	120
流動資産合計	1,549,893,824	1,015,820,078	534,073,746
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産※	3,000,000	3,000,000	0
普通預金(郵貯-神田錦町)			
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 固定資産			
有形固定資産	414,904,636	0	414,904,636
固定資産合計	414,904,636	0	414,904,636
(2) その他固定資産			
敷金	4,158,000	4,158,000	0
その他固定資産合計	4,158,000	4,158,000	0
固定資産合計	422,062,636	7,158,000	414,904,636
資産合計	1,971,956,460	1,022,978,078	948,978,382
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	10,276,199	129,530,506	-119,254,307
預り金	521,367	669,328	-147,961
仮受金	1,533,045,917	879,711,162	653,334,755
流動負債合計	1,543,843,483	1,009,910,996	533,932,487
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,543,843,483	1,009,910,996	533,932,487
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(内基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(内特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	425,112,977	10,067,082	415,045,895
正味財産合計	428,112,977	13,067,082	415,045,895
負債及び正味財産合計	1,971,956,460	1,022,978,078	948,978,382

※基本財産については、これまで郵便貯金口座で管理、指定正味財産において基本財産に充当していたが、定款第5条、第6条に基づき、基本財産としてより明確化することとした。

貸借対照表内訳表

2021年3月31日現在

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	681,671	681,671
普通預金(三菱-虎ノ門)	0	1,212,426	1,212,426
普通預金(三菱-本店)	1,127,410,941	38,461,387	1,165,872,328
普通預金(みずほ-神田)	365,138,420	10,814,198	375,952,618
普通預金(郵貯-神田錦町)	0	67	67
普通預金(住友-神田)	1,616,333	0	1,616,333
普通預金(楽天-第二営業)	3,212,697	0	3,212,697
未収金	0	0	0
仮払金	0	0	0
預け金	0	41,646	41,646
前払費用	0	1,303,918	1,303,918
立替金	0	120	120
流動資産合計	1,497,378,391	52,515,433	1,549,893,824
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産 普通預金(郵貯-神田錦町)	0	3,000,000	3,000,000
基本資産合計	0	3,000,000	3,000,000
(2) 固定資産			
有形固定資産	414,904,636	0	414,904,636
固定資産合計	414,904,636	0	414,904,636
(3) その他固定資産			
敷金	0	4,158,000	4,158,000
その他固定資産合計	0	4,158,000	4,158,000
固定資産合計	414,904,636	7,158,000	422,062,636
資産合計	1,912,283,027	59,673,433	1,971,956,460
II 負債の部			
(1) 流動負債			
未払金	9,259,381	1,016,818	10,276,199
預り金	210,475	310,892	521,367
仮受金	1,483,143,141	49,902,776	1,533,045,917
流動負債合計	1,492,612,997	51,230,486	1,543,843,483
(2) 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,492,612,997	51,230,486	1,543,843,483
III 正味資産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	3,000,000	3,000,000
(内基本財産への充当額)	(0)	(3,000,000)	(3,000,000)
(内特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	419,670,030	5,442,947	425,112,977
正味財産合計	419,670,030	8,442,947	428,112,977
負債及び正味財産合計	1,912,283,027	59,673,433	1,971,956,460

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	803,923,806	792,296,538	11,627,268
受取助成金	803,786,929	788,731,431	15,055,498
事業収益	136,877	3,565,107	-3,428,230
② 雑収益	5,528	114,249	-108,721
受取利息	66	25	41
雑収益	5,462	114,224	-108,762
経常収益計	803,929,334	792,410,787	11,518,547
(2) 経常費用			
① 事業費			
業務委託費	278,449,187	655,768,061	-377,318,874
諸謝金	187,274	1,728,629	-1,541,355
印刷製本費	1,705,449	3,834,994	-2,129,545
広報費	480,129	3,379,330	-2,899,201
会議費	195,530	2,048,580	-1,853,050
旅費交通費	986,880	17,355,121	-16,368,241
会場使用料	6,183,166	25,882,786	-19,699,620
通信運搬費	4,250,017	9,031,089	-4,781,072
消耗品費	703,143	80,695	622,448
資料購入費	238,552	140,755	97,797
修繕費	1,061,327	0	1,061,327
賃借料	973,107	1,838,230	-865,123
減価償却費	28,274,364	0	28,274,364
保険料	119,040	283,917	-164,877
諸会費	84,150	0	84,150
研修費	89,250	541,570	-452,320
手数料(事業)	39,109	126,500	-87,391
支払手数料(事業)	0	648	-648
為替差損	0	5,446	-5,446
雑損失	4,877	4,100	777
雑費	563,335	305,185	258,150
給料手当	29,320,010	39,493,899	-10,173,889
法定福利費	4,752,470	6,294,783	-1,542,313
人材派遣費	4,577,986	2,829,784	1,748,202
事務消耗品費	1,232,950	1,907,234	-674,284
地代家賃	7,020,000	7,088,728	-68,728
・事業費 計(1)	371,491,302	779,970,064	-408,478,762
② 管理費			
役員報酬	1,800,000	1,800,000	0
給料手当	5,184,756	5,090,400	94,356
法定福利費	870,420	894,196	-23,776
通勤費	1,279,826	2,187,160	-907,334
福利厚生費	96,507	363,705	-267,198
人材派遣費	0	0	0
印刷製本費	0	51,720	-51,720
会議費	3,630	2,402	1,228
旅費交通費	83,287	145,776	-62,489
通信運搬費	1,173,831	1,251,546	-77,715
事務消耗品費	273,990	1,068,475	-794,485
修繕費	16,500	190,140	-173,640
水道光熱費	294,421	398,234	-103,813
地代家賃	1,560,000	1,413,272	146,728
新聞図書費	0	18,496	-18,496
保険料	38,500	0	38,500
諸会費	127,575	109,989	17,586
リース料	3,014,984	2,869,710	145,274
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	465,630	512,264	-46,634
手数料	831,946	1,826,692	-994,746
雑費	205,188	213,992	-8,804
事務所移転費	0	0	0
雑損失	1,146	11,198	-10,052
・管理費 計(2)	17,392,137	20,489,367	-3,097,230
経常費用合計(1)+(2)	388,883,439	800,459,431	-411,575,992
当期経常増減額	415,045,895	-8,048,644	423,094,539
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	415,045,895	-8,048,644	423,094,539
当期一般正味財産増減額	415,045,895	-8,048,644	423,094,539
一般正味財産期首残高	10,067,082	18,115,726	-8,048,644
一般正味財産期末残高	425,112,977	10,067,082	415,045,895
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	428,112,977	13,067,082	415,045,895

正味財産増減計算書内訳表
2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科目	事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	783,829,133	20,094,673	803,923,806
受取助成金	783,692,256	20,094,673	803,786,929
事業収益	136,877	0	136,877
② 雑収益	0	5,528	5,528
受取利息	0	66	66
雑収益	0	5,462	5,462
経常収益計	783,829,133	20,100,201	803,929,334
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	29,320,010		
法定福利費	4,752,470		
人材派遣費	4,577,986		
事務消耗品費	1,232,950		
地代家賃	7,020,000		
業務委託費	278,449,187		
諸謝金	187,274		
印刷製本費	1,705,449		
広報費	480,129		
会議費	195,530		
旅費交通費	986,880		
会場使用料	6,183,166		
通信運搬費	4,250,017		
消耗品費	703,143		
資料購入費	238,552		
修繕費	1,061,327		
賃借料	973,107		
減価償却費	28,274,364		
保険料	119,040		
諸会費	84,150		
研修費	89,250		
手数料(事業)	39,109		
支払手数料(事業)	0		
為替差損	0		
雑損失	4,877		
雑費	563,335		
・事業費計(1)	371,491,302	0	371,491,302
② 管理費			
役員報酬		1,800,000	
給料手当		5,184,756	
法定福利費		870,420	
通勤費		1,279,826	
福利厚生費		96,507	
印刷製本費		0	
会議費		3,630	
旅費交通費		83,287	
通信運搬費		1,173,831	
事務消耗品費		273,990	
修繕費		16,500	
水道光熱費		294,421	
地代家賃		1,560,000	
新聞図書費		0	
保険料		38,500	
諸会費		127,575	
リース料		3,014,984	
租税公課		70,000	
支払手数料		465,630	
手数料		831,946	
雑費		205,188	
事務所移転費		0	
雑損失		1,146	
・管理費計(2)	0	17,392,137	17,392,137
経常費用合計(1)+(2)	371,491,302	17,392,137	388,883,439
評価損益等調整前当期経常増減額	412,337,831	2,708,064	415,045,895
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	412,337,831	2,708,064	415,045,895
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	412,337,831	2,708,064	415,045,895
当期一般正味財産増減額	412,337,831	2,708,064	415,045,895
一般正味財産期首残高	7,332,199	2,734,883	10,067,082
一般正味財産期末残高	419,670,030	5,442,947	425,112,977
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	419,670,030	8,442,947	428,112,977

監事監査報告書

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

理事長 横尾 紀彦 殿

本法人の2020年度事業年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の業務及び財産の状況について監査を行いました結果、何れも適法かつ正確であることを認めます。

また、会計監査人西尾公認会計士事務所の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

2021年 6月 10日

監事 山田 恵一郎 ⑩